

2024年11月22日

各位

会社名 ベステラ株式会社
代表者名 代表取締役社長 本田 豊
(コード番号：1433 東証プライム)
問合せ先 執行役員管理部長 池田 真也
(TEL. 03-3630-5555)

当社取締役会の実効性評価の概要について

当社は、「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、取締役会の実効性を高め企業価値を向上させることを目的として、取締役会の実効性に関する分析・評価を行いました。その結果の概要について、下記の通りお知らせいたします。

1. 評価の方法

前年度の取締役会実効性評価（2023年度）での結果を踏まえ、取締役会の実効性に関して、前年同様の取締役の構成、運営状況、議題審議内容、支える体制についての4項目に、株主との対話に関する質問を加えた5項目、全40問のアンケート並びに意見聴取を行い、前年からの改善状況を確認・再評価するとともに、今年度の各項目評価を実施し、取締役会の実効性に関する分析・評価を行いました。

2. 前年度評価（2023年度）からの取組み

(1) 独立社外役員のみを構成員とする会合の実施

独立した客観的な立場に基づく情報交換・認識共有を図るため、独立社外役員のみを構成員とする会合を定期的に変更しました。

(2) 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応方針

過年度の資本コストやROE等を分析・評価し、改善に向けた方針と具体的な取り組みについて、決議および開示しました。

(3) 株主還元方針の変更（累進配当の導入）

累進配当を継続的に実施していく基本方針を決議および開示しました。資本コストを意識し、利益に基づく従来の配当性向に加え、株主資本を基準としたDOE（株主資本配当率）の指標を追加で採用しました。

(4) 政策保有株式の保有方針の開示

政策保有株式の残高を連結純資産の10%以下を目安に縮減していく方針を決定し、一部株式の売却を行いました。

(参考資料)

2024/4/25 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

2024/6/7 株主還元方針の変更（累進配当の導入）に関するお知らせ

3. 評価結果の概要

上記を踏まえた評価の結果、取締役会の実効性が一定程度確保されており、また、コーポレートガバナンス・コードに則した改善を実施したことから、昨年度と同程度の評価となりました。新たに実施した、株主との対話に関する質問についても概ね適切であるとの評価をしております。しかしながら、以下の課題があることを認識しました。

- ・海外展開や女性の活躍を踏まえた取締役の構成
- ・業績連動報酬等の経営陣の報酬、サステナビリティ、コンプライアンスやリスク管理体制等の、中長期的な成長を支える制度や体制に関する議論
- ・経営陣の後継者計画に関する適切な議論・監督
- ・経営陣幹部の迅速かつ果敢な意思決定によるリスクテイクを支える環境の充実

4. 今後の課題への対応

今回の評価結果を踏まえ、以下の点を継続的に取り組んでまいります。

- ・コーポレートガバナンス・コードを遵守した経営管理機能の持続的な対応
- ・経営資源配分、事業ポートフォリオ、行動基準等の、企業戦略の方向性についての協議
- ・取締役の後継者育成計画と客観的な人材育成戦略の充実
- ・資本コストや人的資本への投資に関する議論と情報の開示

当社は取締役会の実効性向上に向けて、持続的に必要な取り組みを継続して実施することで、コーポレートガバナンスの一層の強化に努め、更なる企業価値の向上を目指してまいります。

以 上